2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	見学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	施設・病院等
担当教員	石橋 康信	実務経験とその関連資格	作業療法士として病院・施設で勤務し、身体障害者領域・精神障害者領域で各疾患に対して作業療法を実践。新人教育、実習学生の指導に携わる。			

《授業科目における学習内容》

約1週間の見学期間を実習現場となる施設・病院などで過ごし、見学や記録をする中で作業療法士の役割や対象者への関り方を学ぶ。終了後の発表を通じて文書・口頭で伝える力を身に付ける。

《成績評価の方法と基準》

実習指導者からの学生評価、実習・実習前後OSCE、実習課題(レポート・デイリーなど)、実習報告会で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

図解 作業療法技術ガイド―根拠と臨床経験にもとづいた効果的な実践のすべて［第4版］(文光堂)
その他、全ての教科書を参考にする。

《授業外における学習方法》

■見学実習前■:見学実習オリエンテーションと実習前準備を行う。実習前準備では、感染対策・車椅子操作・見学の仕方・記録の仕方、コミュニケーションのとり方・礼節について、記録のとり方・個人情報の取り扱い、ITリテラシーについてを学習する。■実習期間中■:「事前学習(30分):実習予定の確認・計画」「事後学習(30分):記録・課題提出の準備」が基本となる。■見学実習後■:学内での実習報告会、実習担当教員からのフィードバックなどを行う。

《履修に当たっての留意点》

現場での経験が今後の自分のモチベーション向上となるよう、主体的に取り組みましょう。発表用のスライド作成のためのパソコン・プリンター操作などは必ず自宅で行い、個人情報の管理に注意すること。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習(30分) 実習前準備、出された課題など 事後学習(30分) 実習ご復習・記録
		各コマにおける授業予定	実習(見学5日間) 予定期間:8月24日(月)～8月29日(土)の内5日間とする		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習(30分) 実習に対する予定 事後学習(30分) 記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習(見学5日間)		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習(30分) 実習に対する予定 事後学習(30分) 記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習(見学5日間)		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習(30分) 実習に対する予定 事後学習(30分) 記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習(見学5日間)		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習(30分) 実習に対する予定 事後学習(30分) 記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習(見学5日間)		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の実施状況を観察・記録できる。②リハビリテーションの中で作業療法士の役割が理解できる。③作業療法士になる学生として礼節・言動などモラルある振る舞いや取り組みができる。	教科書	事前学習（30分）実習に対する予定 事後学習（30分）記録・課題提出の準備
		各コマにおける授業予定	実習（見学5日間）		